

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 元年 9月 6日

公表: 令和 元年 9月 25日

事業所名 ひまわりきつず

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		部屋の中に横になって休むことができるスペースを設けている	身体の利用児もいるので、常に横になれるスペースの確保をしています。
	2 職員の配置数は適切である	○			スタッフの勤務年数が長期になるように、常に状況把握に努めている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	△		室内はカーペットを敷いて段差が少なくなるようにしています。	玄関が階段のためスロープの設置に関しては検討課題となっています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の掃除や除菌に心がけている 次亜塩素素を使って消毒しています。	手洗いうがいほもとより、空気清浄機等を利用。インフルエンザ等に備えて、次亜塩素素水で除菌をしています
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		少しでも時間が空いているときに、ミーティングをしています。	気軽にスタッフの意見が吸い上げられるようにし、違う角度からの意見を出るようにしていきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者同士のコミュニケーションの場を設けるように、子供たちが日頃している活動の発表の場を設けたいと思っています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ワムネットへの掲載	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価は受けていません
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		療育のための発達支援教育を受け、子供たちへの支援をしています。	専門の発達支援コーチを受け、土台療育の大切さをスタッフに研修から学んでもらう。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		自社のものですが、使用しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		発達支援研修等を受講して、療育のプロを目指せるようにしています。	子供たちを中心として支援が成り立つように、常に研修を重ねていけるようにします。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		子供たちの育ちを念頭に置き、療育として何が必要かを考え、支援します	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎日の活動を考え、実行に移しています。	2ヶ月くらい前から考えてもらい、実行していきます。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		お出かけや調理実習などを偏らないように入れています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	○		鉛筆の持ち方、筆圧の練習など個別でし、お友達と一緒に活動(遊び・ダンス等)をする	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		担当と活動はボードで分かるように貼っている	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		親御様への連絡事項の反応を確認しています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		連絡帳を使って記録をしている	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		6ヶ月毎に検証して、作成している。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		ココエールや児童相談所との連携があります。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—	—		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	—	—		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		担当者会議の形で、参加して支援内容の確認を行っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		つながるで学校と連絡帳を見させて頂き、状況を把握している。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修に参加しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	保育園等へ通園している子供さんに関しては、連絡はとっているが、活動はしていない	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		子供部会へは参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳を通して、支援内容や活動を伝え、送迎時にお話させていただいています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		利用回数の多い利用児より行っています。	親御様との関係性を築きながら、子育て応援の形や、保育園等との連携
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明をしています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		相談員さんから頂く計画書と親御様からの要望を踏まえて計画書を作成し、説明している。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		児発管が出向き、相談に乗りお話できるような関係を作っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		父母会もしくは発表会のような場を作り、親御様同士の関わりやつながりが多くなるようにしていきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		必要に応じて利用したいということなので、できる限り、意向に沿えるように努力しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月発行しています	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	移転して間もないが、大家さんを通して近隣へは挨拶をしている	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			保護者の皆様へもわかりやすく周知していきたいと思えます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		避難場所の確認・時間等を図り、訓練をしています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に確認をしています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーは書面にて記入をお願いしています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットのファイルがあり共有している。	ヒヤリハットの事例をミーティングで話し合いをしています
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		障害福祉課主催の研修会へ参加し、事業所で報告している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		利用児にはしてはいたないが、あった場合として書面作成はしています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。